

新・登録資料をご紹介します

ソックスレー抽出器

寄贈：有限会社古川理工



ソックスレー抽出機は固体に含まれる可溶性成分を連続抽出する実験装置です。一番下のフラスコに溶媒を入れ加熱すると、一番上の冷却管まで溶媒のガスが上がり、そこで冷却されて中間層にある固体に落ちて成分が抽出されます。写真では分かりにくいですが、中間層のガラス管の工夫でサイホンの原理が働き、この作用を繰り返すことで、可溶性成分を抽出する実験道具です。「化学と宮沢賢治」展で寄贈していただきました。

小野 昌弘（学芸員）

SONY テープコーダー

寄贈：藤原 徹也 氏



1965年にSONYから発売された「ソニオマチックデラックスTC-365」と呼ばれるテープコーダーです。当時SONYでは、テープレコーダーではなく、テープコーダーと呼んでいました。

SONYの前身である東京通信工業が、日本で初めて磁気テープ式の録音装置を開発したのは1950年のことでした。レコードと違い自分で自由に録音できる装置は、その後、学校現場を皮切りに、広く一般に普及することになりました。

江越 航（学芸員）

気象観測用温度計



気象庁などで、気温を測るときに使われています。白金（プラチナ）を使っていて、「温度によって電気の流れやすさが変わる」という白金の性質を利用しています。

気温を測定するときの条件は、風通しがよく、直射日光が当たらず、地面から1.5mほど離れていることです。この温度計では、周りを囲む通風筒により直射日光を避け、内部でファンを回すことで空気を動かし、風通しをよくしています。

西岡 里織（学芸員）